

広陵町の皆さまへ

チェンジ

CHANGE

あなたと広陵の未来を

次世代!
31歳
町議2期

広陵町を元気にする会 代表
前広陵町議会議員

ちぎた^{しんや}慎也

ちぎた慎也の政策提言

- 01 対話で創る! 町民みんなが輝くまちへ。
- 02 こどもが安心して、しなやかに、のびのび育てるまちへ。
- 03 独りにさせない。シニア世代が元気に長生きできるまちへ。
- 04 なりわいがもっと元気なまちへ。
- 05 個性が光る! 文化のかおり高いまちへ。
- 06 町民ファーストの働きやすい行政に。



人口が減っている。

ご挨拶(はじめに)

2060年までに、 広陵町の人口は1万人減る。

広陵町が発表している第2次人口ビジョンにはそのような推計が出ています。広陵町の人口は増え続けている、あるいは、微増を維持し続けており、1991年に2万5千人と少しだった人口が、2021年には3万5千人を超えています。

しかし、広陵町も人口減少の波に逆らえません。2060年には、広陵町の人口が2万5千人を切る、つまり今の人口から1万人も減ってしまいます。この30年で1万人増えたのと同じペースで、次の30年は減少するわけです。

今まで広陵町は幸いに人口が増え続けてきました。しかし、これからは今までと全く違う、人口が減っていく時代に突入します。人が増えているとき、税収が増えているときと、減っていく局面では、町政運営の仕方も変わらざるを得ません。

悲観的になり過ぎることなく、変わっていく社会を受け止めて、今できることを冷静に積み重ねていく、そんな姿勢が必要ではないでしょうか。広陵町が、まだ見ぬ社会に歩み出す中で、何が必要なのか。何を残さないといけないのか。私は、町民のみなさんとの対話を通じて、広陵町の未来を創っていききたいと思います。

広陵町を元気にする会 代表
前広陵町議会議員

千北 慎也

後援会長あいさつ

ヤマヤ株式会社の野村泰嵩と申します。31歳で、地場産業の靴下工場の代表として、日々ものづくりに励みながら、生まれ育ち、事業を行わせていただいている広陵町のこれからを考えることもあります。そんな広陵町の未来を、任せてみたいと心から思う人が、小学校からの同級生であるちぎた君です。

彼は広陵町の「これから」を真剣に見つめ、課題と向き合い、どうすればこの町がもっと魅力的で、住みやすくなるのかを常に考えています。話をするたびに、町の発展に対する強い覚悟と、柔軟な発想を持ち合わせていることを感じます。伝統を大切にしながらも、新しい風を吹き込もうとする姿勢は、私たち若い世代にとっても共感で

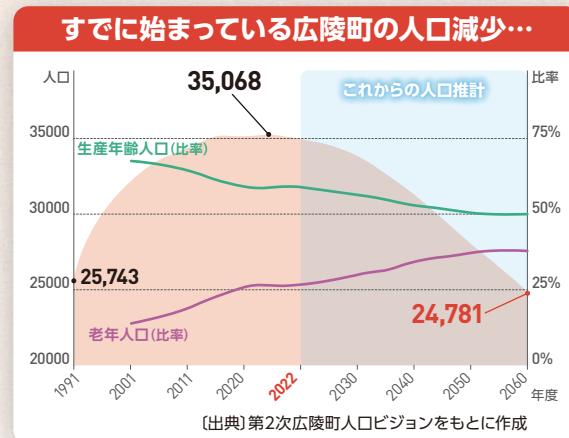
きるものです。

広陵町は、ものづくりの町であり、歴史と未来が交差する場所です。そんな町だからこそ、今をしっかりと見つめ、新しいチャレンジを恐れないリーダーが必要です。私は、彼こそがその役割を担うにふさわしい人物だと確信しています。

「CHANGE」。この言葉には、変わる勇氣、前に進む意思が込められています。彼の掲げるビジョンに共感し、この町をより良くするために、みなさんとともに全力で応援していきたいと思っています。ぜひ、彼にみなさんの力を貸してください。未来の広陵町をともに創っていきましょう!

ヤマヤ株式会社 代表取締役社長

野村 泰嵩



人を助けたい

政治家を志した動機



小学生頃の慎也

私が政治家を志したのは、小学生の頃だったかと覚えています。ウルトラマンや仮面ライダー等のヒーローものが好きだった私は、母に訪ねました「**ウルトラマンや仮面ライダーみたいにたくさんの人が助けられる仕事は何か**」と。すると母は、「**総理大臣が天皇陛下ちやうかな**」と答えました。天皇陛下にはなれませんが、私の夢はおぼろげながら決まりました。

その後、中学生になり進路に悩んでいるとき、木村拓哉さん主演の『CHANGE』というドラマが放映されました。木村さん演じる朝倉啓太が、学校教員から政治家になり、普通の人の感覚で、どんどん政治を変えていく。国民のための政治に変えていく。そんな姿に「**政治家は人々を幸せにできる仕事なんだ**」と強烈に感じたことを覚えています。そこからは、積極的に夢を口に、多くの方との出会いがあり、今にいたります。

2期5年間でたくさんの方々の声やお困り事に関わってきました。アニメのヒーローみたいにすぐに解決することはできませんが、『CHANGE』の主演のように、「**みなさんと同じ目線で、目の前の課題と一緒に取り組んで、まちをよくする**」ことは可能だと確信しています。

YouTubeでも語り尽くします!

現在、YouTubeでは「ちぎチャンネル」改め、「ちぎラジオ」を(好評?)配信中です!
僕が政治家になるまでのエピソードや、広陵町に対する熱い思いも語っています。ぜひ視聴ください!



※このQRコードは短縮URLによるリダイレクト機能を利用しています

ちぎた慎也 プロフィール

1994年3月23日 奈良県広陵町三吉(赤部)に生まれる
2006年3月 広陵西小学校 卒業(スポ少ソフトテニス)
2009年3月 広陵中学校 卒業(野球部)
2012年3月 奈良県立畝傍高校 卒業(野球部/室長)
2016年3月 大阪大学法学部国際公共政策学科卒業
4月 株式会社エクス(ITベンチャー)入社
2019年1月 IT事業「First Step」開業
2020年4月5日 広陵町議会議員選挙にて1,630票獲得
最年少トップ当選(1期目)
2024年4月7日 2,196票を獲得しトップ当選(2期目)

地域活動

赤部自警団・広陵町商工会青年部
一般社団法人葛城青年会議所 ほか

主な役歴

広陵町議会副議長/広陵町監査委員
広陵町商工会青年部 理事/副部長
関西若手議員の会 事務局長/副会長
一般社団法人葛城青年会議所 事務局長/副理事長
公益社団法人日本青年会議所
近畿地区奈良ブロック協議会 ブロック大会運営会議 議長 ほか



広陵中学校野球部時代の慎也

人口減少社会において、何よりも重要なのは「対話」だと思っています。

どうしても、行政サービスを縮小したり、今までのやり方を変えたりしないといけないことが、これから増えてきます。そんなとき、行政側の事情だけを一方的に「説明」されて、納得することができるでしょうか。

また、町民の数が減っても、みなさんがよりまちづくりに関わられるような仕組みを構築できれば、より活気のあるまちになれると確信しています。



定期的に行っているタウンミーティング

未来へのアクション

- 1 対話集会を定期的に行い、説明と説得の合意形成から、共感と納得の合意形成に転換。



兵庫県芦屋市では、テーマを決めて市内の各エリアで対話集会を開催されています。そこでは、市長と市民が車座になって座り、市長が自らテーマについて説明し、対話の進行も行っているそうです。市長と市民の対話だけでなく、参加した市民の方向士の対話も活発に行われていると聞きます。

- 2 ふるさと納税を活用した町民の「挑戦したい!」を後押しする仕組みの創設。
- 3 対話集会やHP・SNSでの情報発信を通じた情報「共有」の徹底。
- 4 「協働」の事例やノウハウをHPやSNSに集約し、発信を行うことで新たな「協働」が自然と生まれる素地の醸成。
- 5 町民によるPRチームの創出や町内イベントを集約発信する仕組みを通じて、地元の方にもっとまちを好きになってもらい、町外への発信力を強化。



あなたの声を聞かせてください

本来であれば、広陵町にお住まいのおひとりおひとりに直接お会いしてお話を伺いたいのですが、なかなか叶いません。こちらのQRコードから、どうぞいつでもお気軽にご意見をお寄せください。ぜひ皆さまの声を聞かせてください。

① 匿名でメッセージを送信できるサービスを用いていますので、どうぞ安心してお送りください



※このQRコードは短縮URLによるリダイレクト機能を利用しています

社会が変わっているということは、子どもたちを取り巻く環境や、子どもたちが大人になったときに必要な能力も変わっているということです。しかも、インターネット上のコンテンツを活用すれば、いつでも、どこでも、どんな内容でも学べるようになった現代においては、公教育に求められる役割も大きく変わっているでしょう。一方で、変わらずに大切なこともあります。

そうした教育の不易流行をきちんと見極め、地方自治体だからこそできる教育環境の整備を柔軟に行うことで、広陵で育った子どもたちが「広陵で育ってよかったな」と振り返ってもらえるまちにしたいです。



地元のまつりで子どもたちと

未来へのアクション

- 1 別室登校の充実やフリースクールへの支援等を通じて、こども達それぞれに合った安心した「学び」の提供。



広陵町の不登校の児童・生徒数は全国的に見ても高い数値です。学校任せにせず、行政としても丁寧な対応が必要です。

- 2 GIGAスクール構想の推進による自由進度学習や体験格差の解消を通じて、社会でしなやかに生きていくためにのびのび学べる環境を構築。
- 3 学校給食無償化の段階的実現。
- 4 おむつの定期宅配によるアウトリーチの実現。
- 5 ユースセンターの創設や「居場所づくり」への補助を実施し、地域全体でこどもの居場所づくりの実施。

町民の方からの声

地域子育て支援わたあめの船田です。子どもの居場所づくりや子育て相談、不登校支援を行っています。ちぎたさんには駄菓子屋にしゃんの立ち上げやイベント開催時にも相談にのって頂き大変ご尽力頂きました。日頃から広陵町の子どもたちの困り事や保護者の声に耳を傾け支援してくださっています。



地域子育て支援 わたあめ 代表 船田智香さん

人生という旅路を歩んで来られて、亡くなるときに独りで、そしてしばらく見つけてもらえない。こんな寂しいことはないと思います。また、誰にも相談できずに、独りで頑張っているケアラー（介護者）の方々をみんなで支えていける、そんな優しいまちにしていきたいです。

人口減少とともに、高齢化率も上がっていきます。同時に、単独世帯数や認知症高齢者数も増加していきます。年を取っても、家族の面倒を見ていても、社会と繋がれる、誰かに気にかけてもらえる、そんなまちなら、みんなが元気で長生きできるのではないのでしょうか。



お年寄りを交えた多世代交流イベント

● 広陵町の世代別人口構成と高齢化率（太字）の推移

区分	第7期始期	第8期始期	現状値	推計値				
	平成30年 (2018年)	令和3年 (2021年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和22年 (2040年)	
総人口	35,012	35,097	35,162	35,155	35,132	35,092	32,983	
年少人口（0歳～14歳）	5,221	5,082	5,080	5,040	5,047	4,999	4,212	
生産年齢人口（15歳～64歳）	21,100	20,767	20,611	20,503	20,387	20,322	17,863	
40歳～64歳	11,859	11,851	11,872	11,888	11,920	11,935	10,315	
高齢者人口（65歳以上）	8,691	9,248	9,471	9,612	9,698	9,771	10,908	
65歳～74歳（前期高齢者）	4,742	4,951	4,598	4,424	4,284	4,155	4,790	
75歳以上（後期高齢者）	3,949	4,297	4,873	5,188	5,414	5,616	6,118	
高齢化率	24.8%	26.3%	26.9%	27.3%	27.6%	27.8%	33.1%	
総人口に占める75歳以上の割合	11.3%	12.2%	13.9%	14.8%	15.4%	16.0%	18.5%	

〔出典〕第2次広陵町人口ビジョンをもとに作成

● 広陵町の認知症高齢者数の推移

区分	推計値			
	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和22年 (2040年)
認知症高齢者数	877	905	937	1,351
要支援1	7	7	7	7
要支援2	32	32	33	47
要介護1	131	136	141	188
要介護2	230	237	246	357
要介護3	208	214	224	318
要介護4	143	147	151	226
要介護5	126	132	135	205

〔出典〕第2次広陵町人口ビジョンをもとに作成

未来へのアクション

- 1 独居等世帯への弁当配送を通じた、アウトリーチの実施。
- 2 認知症カフェ（オレンジカフェ）の新設や充実を後押しし、ケアラーを独りでがんばらせない環境の整備推進。
- 3 独居世帯への見守りセンサー設置を補助し、孤独死対策を実施。
- 4 公民連携による、介護予防・健康寿命延伸の強化。
- 5 公民連携による地域包括支援センターの充実。
- 6 地元大学や現役世代とも連携し、持続可能な「サロン」運営を目指すことで、高齢者の居場所が無くならない仕組みを構築。



「靴下のまち広陵町!」この町で育った方なら何度も耳にしたフレーズではないでしょうか。実は今、広陵町の産業がアツいです。奈良県ではじめて、中小企業小規模企業振興基本条例を策定し、事業者支援に力を入れています。

靴下事業者の中には海外へ積極的に販路開拓されるブランドも出てきています。また、若い農家が続々と登場し、喫茶店や美容室等の個人経営の第3次産業のお店が増えていたり、広陵町から世界初を目指そう! という製造業もあります。そんな広陵町の「なりわい」にはもっと元気になるポテンシャルがあります。



讃岐神社で町内事業者を集めたマルシェを開催

未来へのアクション

- 1 町長が先頭に立ち、トップセールスで町産品のブランディングと発信を実施。
- 2 広陵町の知名度アップとふるさと納税の返礼品拡大に努め、ふるさと納税額の倍増を目指す。
- 3 竹取公園周辺の公民連携による開発を通じて、「かぐや姫のまち」ブランドの発信。
- 4 海外市場も見据えた「突き抜ける」事業者の後押し。
- 5 新複合施設に起業希望者への貸しオフィスやチャレンジショップ機能を設け、地域内での小規模ビジネスの創出のサポート。
- 6 企業立地を促し、多様な働く場所と元気な事業者が集まるまちに。

町民の方からの声

ちぎた君には、地元の後輩として、どうすれば自社ブランドを伸ばすことができるのか、製品アイデア、ネットやSNSを活用した販促方法についても知恵を貸してもらいました。また、工場併設型ショップを作るときにも力を貸してもらいました。これからも広陵町の靴下を履いて、「広陵くつした」を有名にするために頑張ってください。



サントウユニット株式会社 代表取締役 山本聖二さん

AIが社会に浸透するほど、人間の「感性」がより重要になってくると考えています。そして、偏差値に代表される画一的な競争社会から、「個性」が尊重される時代が変わってきてると感じています。

「文化」は人間の感性を磨き、個性を伸ばすもっとも大事な要素だと私は考えています。だからこそ、いくつからでも、いくつになっても、文化活動の場や社会教育の場が確保されていることは、心が豊かなまちである証だと思います。



かぐや姫ホールにて企画したショー

未来へのアクション

- 1 町民の皆さまそれぞれが取り組みたい文化活動を行える環境の確保。
- 2 ニーズの変化を捉え、こどもや若い世代も使いたいと思える施設の整備。
- 3 伝統ある文化祭を、町全体に拡充し、「まちじゅう文化祭」とすることで、町民各々の個性が発揮できる多様で十分な発表の場を確保。
- 4 公民館運営審議会の再開等を通じ、公民館が担っている社会教育の場の確保を確実に実施。
- 5 本物に触れる機会をこども達に提供することで、豊かな感性を育む。

町民の方からの声

私は、落語を通じて子ども達に本物に触れる機会と実践の機会を作ってきました。広陵落語サークルの開催や広陵寄席がまさにその取り組みです。

ちぎた君は、スタンダップコメディアンの方を呼んで、「アメリカの本物」を見せてくれるなど、文化芸術活動にも日頃から理解をいただいています。

やっぱり、文化や芸術、芸能で大事なものは、笑うこと！そして健康になることです！そんな元気なまちづくりを期待しています。

まなび家カサ・デ・スタディ 塾長 杉本洋之さん
(素人落語家 広福亭ばいさん)



どれだけ町民の方と「協働」でまちづくりを行ったり、民間事業者のノウハウを活用しても、やはり役場においては「人」(職員)が最も重要です。

広陵町役場で奉職することを選んだ方々が、ここで働きたい、と前向きに考えられる環境を整えることが結果的に「町民ファースト」な役場づくりの一丁目一番地と言えます。その上で、社会の変化を踏まえて、行政、町民のみなさま、民間事業者との関わり方を捉え直すことで、より町全体での「協働のまちづくり」が進められると考えています。



まちづくり勉強会にて

未来へのアクション

- 1 業務の適切な効率化を図ることで、職員の業務負担を軽減し、町民に向き合う、より一層町民ファーストの役場にするための環境を整備。
- 2 公民連携を推進し、町の課題を解決するために町外の人材や企業のノウハウやリソースをフル活用する。
- 3 DXやデジタル化が進み「行かなくてもいい」役場になっても、ふと立ち寄れる町民の皆さまにとって身近な役場に。
- 4 丁寧な制度設計のもと副業解禁を実施し、職員の所得改善による定着率の向上と、町内事業者への職員リソースの提供を目指す。



広陵町議会でも取り上げました！

- 「町民のために人材が集まる広陵町役場に！」
- 「広陵町のDXを含むデジタル推進の今後の方針について」

広陵町議会議員時代、こうしたテーマで一般質問を行いました。町民サービスの質を高めるには、職員が前向きに働ける環境づくりと、IT技術の活用が不可欠です。大学卒業後、ITベンチャーで働いた経験を活かした現場目線で、役場のあり方やデジタル政策の方向性を具体的に提案しました。

▶ 議会質疑の動画はこちら！



※このQRコードは短縮URLによるリダイレクト機能を利用しています

広陵町に戻ってきてから、本当に多くの方々に関わらせていただきました。私の考え方や政策の全ては、地元で関わっていただいたみなさんとのやり取りひとつひとつから得た気づきが基になっています。

ちぎた慎也 これまでの取り組み

「広陵のナスを盛り上げたい! アノナスの思い出。」

百済のナス農家さん・老舗農家乾さんと、夏の恒例になったイベントを立ち上げました。会場は長龍ブリューパーク。広陵の名産品であるナスを子どもたちにも好きになってもらいたい。そんな想いで、ナスをソーメンにして「流しナスソーメン」を毎年夏に行っています。

町民の方からの声

広陵町で特産の茄子を夫婦で栽培しています。かつて百済に広がっていた茄子畑も、今では数えるほどに。地域の味と風景を次世代に繋げるため、ちぎた君と一緒に夏には「あのナスの思い出」という茄子イベントも開催しました。その際、ナスを使ったアイスクリームの共同開発にもご尽力いただき、日頃から広陵町の農業の未来に深い関心を持って支援してくださっています。



老舗農家乾 古川敏之さん・真知さん

「イベントがコミュニティになる。『トウジノハナビ』」

コロナ禍で何もなくなったときに、子どもたちに思い出を作ろうと、クラウドファンディングで資金を集め、町内の複数箇所ですべて同時に花火を打ち上げる企画が立ち上がりました。私は最初から関わらせていただき、イベントを通じて、新たなコミュニティができることを実感いたしました。今では「トウジノハナビ」のコミュニティから複数の取り組みが立ち上がっています。

「居場所づくりの重要性。AKBわくわくサロン」

私の地元、三吉赤部はKEEP 体操教室や、サロンが活発な地域でした。しかし、運営されていた方が体調を壊されて、サロンが行われなくなっていました。そんなときに、地元の現役世代の女性がサロンを復活させてくれました。毎月参加する中で、居場所づくりの重要性を感じています。

〈その他の取り組み〉

歩こう会 (広陵町商工会青年部) / ほほえみフェスタ / 讃岐マルシェ (JC) / 輝け奈良の可能性フェスティバル (JC)

1994>2020>2025

「広陵には若手が働く場所がない?」 YouTube番組「広陵で働く!」で若手を取材。

まちに関われば関わるほど、「広陵には若手が働く場所がない」というよくある評価に対して、「めっちゃ魅力的な働き手がいるし、働く場所もあるやん!」と感じるようになりました。

そこで、自分のYouTubeチャンネルを立ち上げて、広陵で働く若手を取材して歩きました。地場産業で頑張る若手、自分で事業を興す若手、地元企業で新たなチャレンジをする若手、地域の子どものために頑張る若手…。広陵町には、私の取材力ではとても取り上げきれないくらい、魅力的で、精力的な若手がおり、そんな若手が働く場所がありました。

書ききれないくらい、たくさんの方々にお世話になりました。
関わる方が増えれば増えるほど、このまちが好きになり、このまちのポテンシャルを感じ「このまちのために働きたい」という想いを強くしました。

YouTube番組「広陵で働く!」

動画(再生リスト)はこちら! ▶

自身のYouTubeにて、広陵町で働く若手を取り上げてきました。
「働く場所がない」とよく言われますが、そんなことはありません!
若手が働ける場所も、若手が夢を持てる職場も、広陵町にありました!!

Vol.06

広陵からラグビー日本代表産み出すんや! メイドイン広陵のダンボールを作り出す 広陵株式会社 吉川さん

Vol.14

奈良と薬草のことをもっと知って欲しい! 広陵の薬屋のひとりごとから生まれた萬葉ラムネ 成光薬品工業株式会社 治田美穂さん

Vol.22

みんなを健康にしたい! 「笑い文字」と予防医学のアプローチ 親子の健康コーディネーター 諫山美里さん

4年間でアップロードしてきた全22動画どれもが僕のおすすめです。ぜひご視聴ください!

※このQRコードは短縮URLによるリダイレクト機能を利用しています

9

10

僕は生粋のおばあちゃんっ子でした。

祖母から「昔は大変やった。ごはんもなかった」と聞く昔話に実感がありませんでした。
でも、そのときの祖母の平和な笑顔が忘れられません。
色んなことがあったけれど、昔は大変だったけど、
今が、孫の世代が平和で良かった、
という笑顔だったんだと今なら感じるができます。

僕らの世代は「失われた30年」と言われた時代に生まれ、
今まで育ってきました。明日は良くなる、という
希望を抱きづらい世代とも感じています。
それでも、確かに私達は生きてきて、
今も同世代は社会で必死に頑張っています。
「失われた」なんて言われたくない。と必死につとめています。

冒頭でお伝えしたように、次の30年が、
広陵町にとって非常に厳しい30年になることは確実です。
ですが、次の30年がどのような30年になるのか、
変えることができるのも、今を生きている、我々です。

「昔は大変やったんやで。でも、いい時代やろ。」

私は、そういつて30年後の子どもたちに笑顔で語り掛けたい。
私は、そんな未来をみなさんと一緒に作っていきたいです。
自分一人では難しくても、みなさんとなら必ずできると信じています。

時代は、社会は変わっていきます。
どんな時代になっていくのか、みなさんと考えて。
どんなまちにしていけるのか、みなさんと考えて。

どんなまちだって、みなさんと創れると信じています。

発行

〒635-0834 奈良県北葛城郡広陵町三吉478-1
広陵町を元気にする会
Tel.0745-55-7889
<https://shinya-chigita.net/>



政策と活動はこちら

ちぎた慎也の政策や活動は、
ホームページおよびSNSから
発信しています。



このパンフレットは、政策を広く知らせることを目的に作成されており、
政党交付金や政務活動費等の公的資金は使用されていません。

CHANGE

このまちを、変える。このまちから、変える。

政治には未来を変える力があると信じています。

「なんでも変えられる派手なヒーロー」になれなくても、
約1,800個ある地方自治体で、
広陵町という小さなまちから変えることは、
日本を元気にすることに繋がると確信しています。

CHANGE

このまちが変わる。ここから変えていく。
あなたと対話で創るまちへ。

